

PAT-NO: JP02000217447A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000217447 A
TITLE: PREVENTION BELT FOR PREVENTING TREE FROM
FALLING DOWN
PUBN-DATE: August 8, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TERAMOTO, TOJIRO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TERAMOTO TOJIRO	N/A

APPL-NO: JP11025894

APPL-DATE: February 3, 1999

INT-CL (IPC): A01G017/12

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a belt for preventing a tree from falling down capable of applying easily and less expensively.

SOLUTION: This belt is a plastic belt designed to crossover a garden tree 2 and a supporting stake 3 stood on the side opposite to the falling side of the tree 2 for protecting the tree 2 from falling down. It comprises a belt base body 4 of a rough C-shape when viewed from above and fitting the outer peripheral surface of the supporting stake 3, a flexible main body belt part 5 integrally extending from one end of the C-shaped belt base body 4 and capable of winding the tree 2, and a belt fixing part 6, 16 which is placed on the outer surface of the other end of the C-shaped belt base body 4 and

fixes a
specific part of the front end side of the main body belt part 5
which has been
wound on the tree 2.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-217447

(P2000-217447A)

(43) 公開日 平成12年8月8日(2000.8.8)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

データベース(参考)

A 0 1 G 17/12

A 0 1 G 17/12

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-25894

(22) 出願日 平成11年2月3日(1999.2.3)

(71) 出願人 598168036

寺元 登次郎

兵庫県伊丹市瑞穂町1丁目66番地

(72) 発明者 寺元 登次郎

兵庫県伊丹市瑞穂町1丁目66番地

(74) 代理人 100069578

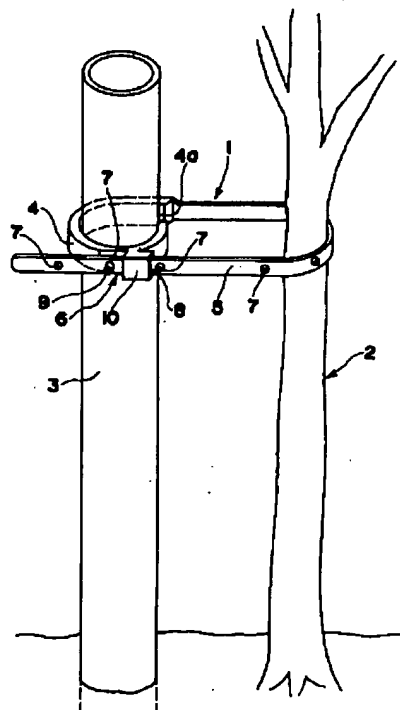
弁理士 藤川 忠司

(54) 【発明の名称】 植木倒れ防止用ベルト

(57) 【要約】

【課題】 施工が簡単でコストを安くできる植木倒れ防止用ベルトを提供すること。

【解決手段】 植木2の倒れを防止するために植木2の倒れ側と反対側に立設した支持杭3と当該植木2とに架け渡すようにしたプラスチック製のベルトであって、支持杭3の外周面部に嵌合する平面視略C字状のベルト基体4と、このC字状ベルト基体4の一端部から一体に延出され、植木2に巻回されるようになっている可撓性の本体ベルト部5と、前記C字状ベルト基体4の他端部外面に設けられ、植木2に巻回された本体ベルト部5の先端側所要部を固定するベルト固定部6、16とからなる植木倒れ防止用ベルト1。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 植木の倒れを防止するために植木の倒れ側と反対側に立設した支持杭と当該植木とに架け渡すようにしたプラスチック製のベルトであって、支持杭の外周面部に嵌合する平面視略C字状のベルト基体と、このC字状ベルト基体の一端部から一体に延出され、植木に巻回されるようになっていて可撓性の本体ベルト部と、前記C字状ベルト基体の他端部側に設けられ、植木に巻回された本体ベルト部の先端側所要部を固定するベルト固定部とからなる植木倒れ防止用ベルト。

【請求項2】 ベルト基体の一端部から本体ベルト部が上下複数段に亘って夫々一体に延出され、ベルト基体の他端部外面には、各段の本体ベルト部の先端側所要部を固定するベルト固定部が上下複数段に並設されている請求項1に記載の植木倒れ防止用ベルト。

【請求項3】 本体ベルト部は、帯板状に形成されていて、先端部側に留め孔が一定ピッチで複数設けられている請求項1又は2に記載の植木倒れ防止用ベルト。

【請求項4】 本体ベルト部は丸棒状に形成されている請求項1又は2に記載の植木倒れ防止用ベルト。

【請求項5】 ベルト固定部は、帯板状に形成された本体ベルト部の先端部側を挿通させる挿通孔と、この挿通孔に通された本体ベルト部の留め孔に係入する係入突起とからなる請求項3に記載の植木倒れ防止用ベルト。

【請求項6】 ベルト固定部は、丸棒状に形成され本体ベルト部の先端部側を挿通させる挿通孔と、この挿通孔に通された丸棒状本体ベルト部を挿通孔と直交する方向に曲げた状態で係嵌固定する係嵌溝部とからなる請求項4に記載の植木倒れ防止用ベルト。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、庭や道端などに植えられた樹木（以降、植木と言う）が強風などによって倒れるのを防止するために使用される植木倒れ防止用ベルトに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の植木倒れ防止手段としては、植木の倒れ側（植木が倒れる傾向にある側）に複数本の支持杭を立て、これら支持杭の上端部に横木を渡して連結し、この横木で植木を支えるようにしたものが知られているが、施工するのに非常に手間がかかる上、材料費も高くなって、施工コストが高つく難点があった。

【0003】本発明は、施工が簡単でコストを安くできる植木倒れ防止用ベルトを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1に係る発明は、植木2の倒れを防止するために植木2の倒れ側と反対側に立設した支持杭3と当該植木2とに架け渡すようにしたプラスチック製のベルトであって、支持杭3の外周面部に嵌合する平面視略C字状のベルト基体4、14と、

このC字状ベルト基体4、14の一端部から一体に延出され、植木2に巻回されるようになっていて可撓性の本体ベルト部5、15と、前記C字状ベルト基体4、14の他端部側に設けられ、植木2に巻回された本体ベルト部5、15の先端側所要部を固定するベルト固定部6、16とからなることを特徴としている。

【0005】請求項2は、請求項1に記載の植木倒れ防止用ベルトにおいて、ベルト基体24の一端部から本体ベルト部5、15が上下複数段に亘って夫々一体に延出され、ベルト基体24の他端部外面には、各段の本体ベルト部5、15の先端側所要部を固定するベルト固定部6、16が上下複数段に並設されていることを特徴とする。

【0006】請求項3は、請求項1又は2に記載の植木倒れ防止用ベルトにおいて、本体ベルト部5は、帯板状に形成されていて、先端部側に留め孔7が一定ピッチで複数設けられていることを特徴とする。

【0007】請求項4は、請求項1又は2に記載の植木倒れ防止用ベルトにおいて、本体ベルト部15は丸棒状に形成されていることを特徴とする。

【0008】請求項5は、請求項3に記載の植木倒れ防止用ベルトにおいて、ベルト固定部6は、帯板状に形成された本体ベルト部5の先端部側を挿通させる挿通孔8と、この挿通孔8に通された本体ベルト部5の留め孔7に係入する係入突起9とからなることを特徴とする。

【0009】請求項6は、請求項4に記載の植木倒れ防止用ベルトにおいて、ベルト固定部16は、丸棒状に形成され本体ベルト部15の先端部側を挿通させる挿通孔18と、この挿通孔18に通された丸棒状本体ベルト部15を挿通孔18と直交する方向に曲げた状態で係嵌固定する係嵌溝部19とからなることを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施形態による植木倒れ防止用ベルト1を示したもので、図2の

(A)は植木倒れ防止用ベルト1の平面図、(B)は同ベルト1の正面図、(C)は同ベルト1の使用状態での平面図である。この植木倒れ防止用ベルト1は、図1から分かるように、植木2の倒れを防止するために植木2の倒れ側（植木2が倒れる傾向にある側で、例えば図1の右方側）と反対側に立設した支持杭3と当該植木2とに架け渡すようにしたもので、支持杭3の外周面部に嵌合する平面視略C字状のベルト基体4と、このC字状ベルト基体4の一端部から一体に延出され、植木2の幹に巻回されるようになっていて可撓性の本体ベルト部5と、前記C字状ベルト基体4の他端部外面に設けられ、植木2に巻回された本体ベルト部5の先端側所要部を固定するベルト固定部6とから構成される。

【0011】この植木倒れ防止用ベルト1は、ポリ塩化ビニル、ポリプロピレン、その他適当な樹脂材料によって一体成形されたプラスチック製のもので、ベルト基体

【００１６】図３及び図４は、本発明の他の実施形態によるプラスチック製の植木倒れ防止用ベルト１１を示したもので、このベルト１１は、支持杭３の外周面部に嵌合する平面視略Ｃ字状のベルト基体１４と、このＣ字状ベルト基体４の一端部から一体に延出され、植木２（図１参照）に巻回されるようになっている可撓性の本体ベルト部１５と、Ｃ字状ベルト基体４の他端部外側面に設

【００２２】図５は、本発明の更に他の実施形態によるプラスチック製の植木倒れ防止用ベルト２１を示したもので、このベルト２１は、支持杭３の外周面部に嵌合する平面視略Ｃ字状のベルト基体２４を有し、このベルト

て夫々一体に延出され、ベルト基体24の他端部外面には、上下各段の本体ベルト部5の先端側所要部を固定するベルト固定部6が上下2段に並設されている。

【0023】上記C字状ベルト基体24は、前述したベルト1、11のベルト基体4、14よりも幅広く形成されており、そしてこのベルト基体24の内側面には、図5の(B)に示すように、幅方向中央部に凹条部24aがベルト基体24の周方向全域に形成されている。この凹条部24aは、支持杭3が竹製や木製のものである場合に、杭3の外側面から突出する竹や木の節目等の突起部3aを受け入れるようにするためのもので、この凹条部24aを設けることによって、ベルト基体24を支持杭3の外周面部に的確に嵌合させることができる。

【0024】上下各段の本体ベルト部5については、図1及び図2に示す植木倒れ防止用ベルト1のものと同一構造であり、ベルト固定部6についても植木倒れ防止用ベルト1のものと同一で、本体ベルト部5の先端部側を挿通させる横断面略I字状の挿通孔8と、この挿通孔8に通された本体ベルト部5の留め孔7に挿脱自在に係入する係入突起9とからなる。

【0025】このような植木倒れ防止用ベルト21によれば、植木2の所要部を上下2段に亘って巻回するようにするから、植木2をより安定な状態で支持することができる。また、ベルト基体24についても、その上下幅が広がるから、支持杭3に対する支持も安定する。

【0026】図5に示す実施形態の植木倒れ防止用ベルト21では、ベルト基体24に本体ベルト部5を上下2段に配設したが、3段以上配設してもよい。また、帯板状の本体ベルト部5の代わりに、図3に示した丸棒状の本体ベルト部15を採用してもよい。その場合、ベルト固定部として、横断面円形状の挿通孔18と、この挿通孔18を出た丸棒状本体ベルト部15を挿通孔18と直交する方向に曲げた状態で係嵌固定する係嵌溝部19とからなるベルト固定部16を採用する。

【0027】

【発明の効果】請求項1に係る発明の植木倒れ防止用ベルトは、支持杭の外周面部に嵌合する平面視略C字状のベルト基体と、このC字状ベルト基体の一端部から一体に延出され、植木に巻回されるようになっている可撓性の本体ベルト部と、前記C字状ベルト基体の他端部側に設けられ、植木に巻回された本体ベルト部の先端側所要部を固定するベルト固定部とからなるもので、使用に際しては、植木の倒れ側と反対側に1本の支持杭を立設して、この支持杭にベルト基体を嵌合すると共に、本体ベルト部を植木に巻回して、その先端側所要部をベルト固定部によって固定すればよいから、植木を十分に支持することができる。また、施工が簡単容易となり、施工コストを安くできる。ベルトは、プラスチックで一体形成することによって、安価に提供できると共に、植木を傷つけることなくやさしく支持することができる。また本発

明は接地面に直接植えた植木のみならず、プランター等の洋風植木鉢や和風植木鉢に植えた植木の倒れ防止にも適用することができる。

【0028】請求項2に記載のように、ベルト基体の一端部から本体ベルト部を上下複数段に亘って夫々一体に延出し、ベルト基体の他端部外面に、各段の本体ベルト部の先端側所要部を固定するベルト固定部を上下複数段に並設したもののによれば、植木の所要部を上下複数段に亘って巻回できるから、植木をより安定な状態で支持できる。また、ベルト基体についても、その上下幅が広がるから、支持杭に対する支持も安定する。

【0029】請求項1又は2に係る植木倒れ防止用ベルトの本体ベルト部は、請求項3に記載のように帯板状に形成して、その先端部側に留め孔を一定ピッチで複数設けるようにしてもよく、また請求項4に記載のように、丸棒状に形成してもよい。

【0030】請求項5に記載のように、ベルト固定部が、帯板状に形成された本体ベルト部の先端部側を挿通させる挿通孔と、この挿通孔に通された本体ベルト部の留め孔に係入する係入突起とからなるものによれば、ベルト固定部の構造が簡単で製作が容易となる。

【0031】請求項6に記載のように、ベルト固定部が、丸棒状に形成され本体ベルト部の先端部側を挿通させる挿通孔と、この挿通孔に通された丸棒状本体ベルト部を挿通孔と直交する方向に曲げた状態で係嵌固定する係嵌溝部とからなるものによれば、ベルト固定部の構造が簡単で製作が容易となる上に、ベルトの固定操作がより簡単となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態による植木倒れ防止用ベルトを示す斜視図である。

【図2】 (A)は同ベルトの平面図、(B)はその正面図、(C)は同ベルトの使用状態での平面図である。

【図3】 (A)は他の実施形態による植木倒れ防止用ベルトを示す平面図、(B)はその正面図である。

【図4】 図3に示す植木倒れ防止用ベルトの斜視図である。

【図5】 (A)は更に他の実施形態による植木倒れ防止用ベルトを示す斜視図、(B)は同ベルトの縦断正面図である。

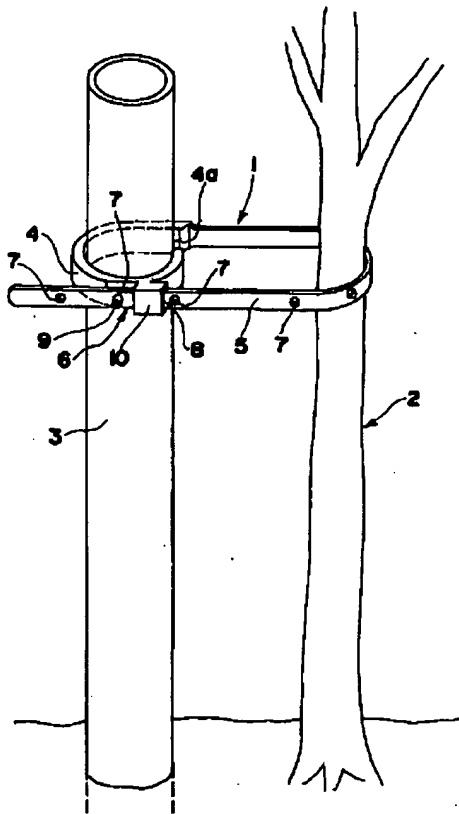
【符号の説明】

1	植木倒れ防止用ベルト
2	植木
3	支持杭
4	ベルト基体
5	本体ベルト部
6	ベルト固定部
7	留め孔
8	挿通孔
9	係入突起

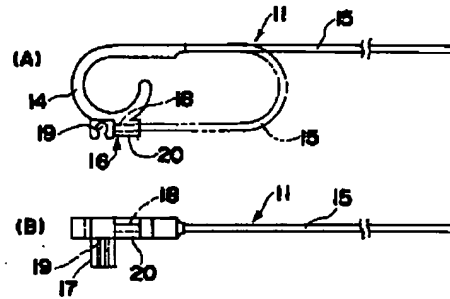
7
11 植木倒れ防止用ベルト
14 ベルト基体
15 本体ベルト部
16 ベルト固定部

8
18 挿通孔
19 係嵌溝部
21 植木倒れ防止用ベルト
24 ベルト基体

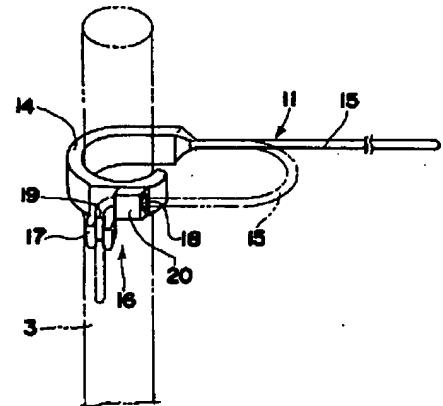
【図1】



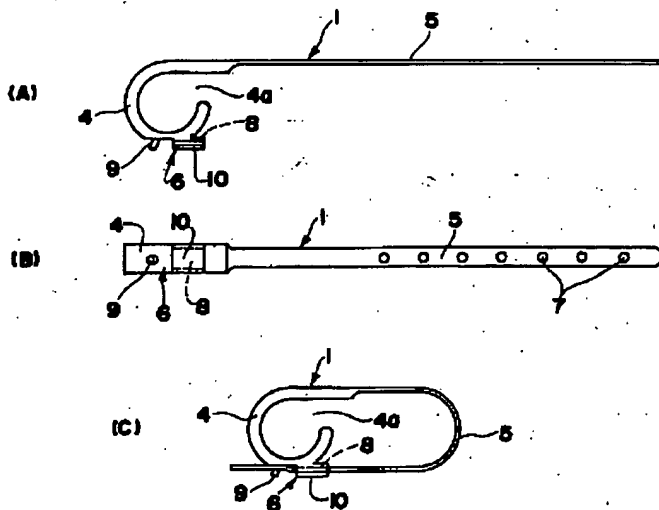
【図3】



【図4】



【図2】



【図5】

